

災害にそなえ、地域の文化や景観に調和する

# 塔の島地区河川改修事業



喜撰橋からの風景



橘橋からの風景



宇治橋からの風景



朝霧橋からの風景



国土交通省近畿地方整備局  
淀川河川事務所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-10  
TEL:072-843-2861(代表)

2022年10月作成



ドローンにて撮影  
(平成31年4月9日時点)

# 景観や自然環境に配慮した河川整備



## 塔の島地区河川整備 概要

塔の島地区の河川整備前の流下能力は、淀川水系河川整備計画の目標とする流量 $1500\text{m}^3/\text{s}$ に対し、 $890\text{m}^3/\text{s}$ と流下能力が不足していました。そこで平成21年度より「塔の島地区河川改修事業」に着手し、景観や自然環境に配慮した最小限の掘削および護岸整備により、洪水を安全に流下させる河川整備を行いました。

事業期間	平成21年度～平成30年度
工事費	約60億円

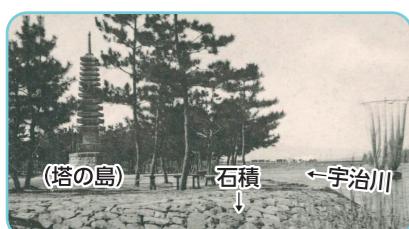


平成25年(2013年)台風18号の宇治川の出水状況

## 護岸構造について

### 宇治川護岸

昭和初期の塔の島護岸が、緩やかな石積であったことから**1:2.5の自然石の野面石積護岸**を採用。



撮影:昭和初期

### 塔の川護岸

塔の川護岸は遊船に配慮し、川幅を広く確保できるように**1:0.5の自然石の野面石積護岸**を採用。



撮影:昭和初期

### 使用石材

各地の石材を比較し、現況河床材料と近い黒系色の**揖斐石**を使用。

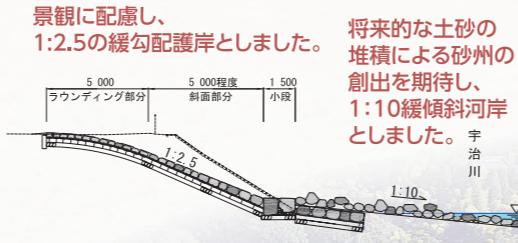


塔の川直下流

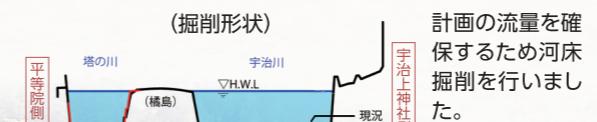
## 宇治川護岸整備



歴史・伝統・文化を踏まえた石積護岸とし、水際部は景観や自然環境に配慮した形状としました。



## 河床掘削



計画の流量を確保するため河床掘削を行いました。

## 塔の川護岸整備



塔の川の遊船に配慮した石積護岸を整備。



## 橘島の切り下げ

橘島の下流部を切り下げることにより、中州の景観を復元するとともに、より開放的な空間を創出しました。併せて、さくらまつりなどのイベントスペースを確保するための整備を行いました。また、塔の川の落差工についても、遊船に配慮し切り下げを行いました。

## 塔の川河床掘削

塔の川の河床も掘削し、流下能力を増大。

## 塔の島の変遷

流下能力向上をめざした河川整備を行うとともに、景観にも配慮し、昭和以前の中州の形状をイメージして、歴史的趣のある自然な形状となる整備を行いました。



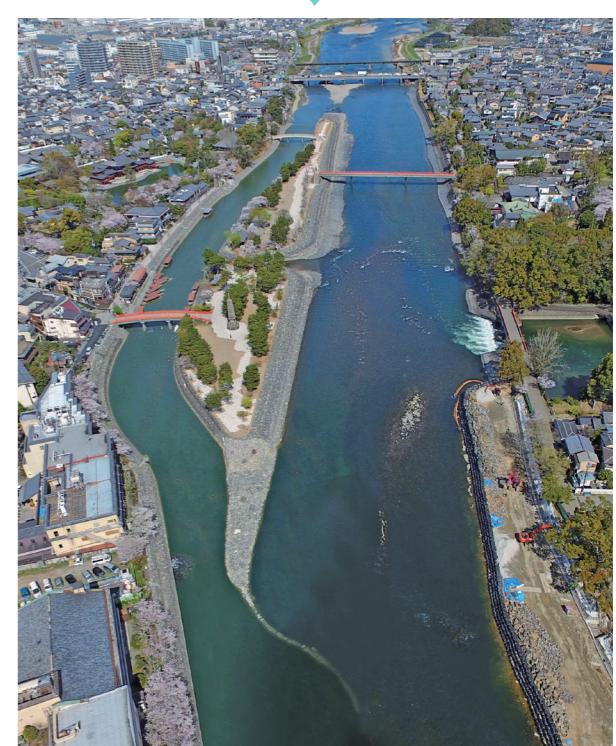
昭和23年空撮



昭和49年空撮



平成7年空撮



現在(平成31年4月撮影)